

岡 幸男議員

応は

- (2) マイクロチップ等の迷いペットへの対策は

8 農業をとりまく環境について

- (1) 新市の都市計画における今後の農地保全の考え方について

9 市営住宅について

- (1) 今後の運用について
- (2) 権利の継承について

10 農業所得者の申告義務について

- (1) 対象者への周知はできている

のか

- (2) 窓口で対応できるのか
- (3) 自主記帳への指導はできるのか

11 多文化共生社会への取り組みについて

- (1) 現状と取り組み、方向性や課題は

12 問 五六川改修の進捗状況について

答 県道久居河芸線までの約170m区間は、今年度国庫補助事業と

して採択され、上流取付け部付近の護岸工事や県道部分の橋梁予備設計、用地測量等を進める。

- (1) 着工へのスケジュールと現状は
- (2) 完成までのスケジュールと問題点は

13 中野地区の排水計画について

- (1) 現状の把握は
- (2) 将来的な見通しは
- (3) 調査研究の進め方について

かわ ぐち かず お 川 口 和 雄

無 会 派

●一般質問●

1 平成19年度予算編成について

- (1) 適正な財政調整基金残高とは
- (2) 合併後、このように厳しい財政状況となった要因は
- (3) 何時の時点において合併効果による安定した財政運営ができるのか

2 特殊勤務手当について

- (1) 最近公務員の人件費や手当が話題になっており、本来の給料と二重払いとのケースと批判されている給食調理員の給食手当、保育士の保育手当等々、我が市においても同じような手当が数多く支給されているが、市民の理解が得られるのか

3 管理職手当について

- (1) 旧津市の管理職手当支給割合は給与の100分の14から100分の18であったが、合併後の新津市では100分の14から100分の22と跳ね上がっており、本末転倒しているが、民間ではリストラや賃金カットは常識である昨今、如何なものか

4 津市職員共済組合補助金について

- (1) 厳しい財政状況を理由に各種団体への補助金の大幅なる削減等、市民に痛みを強めているの

に対し、同じ任意の団体である職員共済組合へは、平成18年度、4,665万円、職員一人当たり15千円もの補助金を投入しているが、我が市の財政状況において妥当な措置なのか

問 市民に痛みを強いる前に、市民が理解出来ない諸手当の廃止を

答 本市の給与制度は合併協議の調整方針を踏まえ制度化されたが、厳しい財政状況下、現在、行財政改革の取り組みの中で手当等を含め人件費の縮減が必要と考える。

▶支給される手当の適正化を
(津競艇場)



決議を可決

飲酒運転根絶の

飲酒運転に起因する交通死亡事故が多発する中で、市民と一体となって飲酒運転の根絶に取り組むため、「飲酒運転根絶に関する決議」を全会一致で可決しました。

飲酒運転根絶に関する決議

悲惨な交通事故から市民の生命と生活を守り、安全で安心な交通環境を次代に引き継ぐことは、津市民すべての願いです。しかしながら、飲酒運転による死亡事故は、道路交通法の改正により厳罰化されたものの後を絶たず、一層深刻さを増しているのが現状である。

とりわけ本市では、最近交通死亡事故が多発していることから、シートベルト着用の徹底などと併せ、飲酒運転追放のための行動が強く求められている。よって本市議会は、交通事故のない安全で安心なまちづくりに寄与できるよう、市民や家庭、地域と一体となって、飲酒運転の根絶に向け全力で取り組むことを決議する。

平成18年12月22日

津市議会議長 中川隆幸